（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	子ども発達センターたっく（児童発達支援）

公表日　令和7年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	1	・その日のこどもや保護者の人数によって部屋の広さを変えている。 ・人数や内容によって部屋を広くしたり狭くできる仕切りがある ・始業点検を行い、環境整備を行っている。活動やあそびに合わせて、部屋の広さを整えこどもの支援にあたっている。	朝の打ち合わせや振り返りの中で、こどもの状況から見立てを職員間で行い、グループわけを行っています。1階２階の部屋を有効に使っていきたいと考えます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	0	・こどもの成長に必要な専門職が配置され提供されている ・提供される環境も整えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	0	・始業点検を行い常に環境整備に努めている。部屋の使用について、翌日の部屋の使用について全体で調整をしている。 ・様々な年齢のこども達が利用するため、こどもの年齢、発達に合わせた環境を整えるよう努めている。 ・活動後毎回掃除と消毒をする。 ・児にとって危険と思われる場所があれば直ぐに修理、改善しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	21	1		活動内容やグループわけにより臨機応変に物的環境を整えていけると良いと思います。必要な部屋の使用など、あらかじめ把握でき職員全員にも周知できるように工夫していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	2		PDCAサイクルがなぜ大事なのかの理解を深めていきたいと思います。「A」の所を特に意識し、課題の把握と修正を継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	無回答２ ・保護者からの質問には速やかに確認共有し対応している。職員のSVの機会を設けている ・研修、職場内でも資質向上の研修を定期的に行ったり、外部研修に参加している。	保護者の評価表を確認する機会をしっかり作っていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	0	・施設長と各グループのコーディネーター及び担当が中心になり会議等で調整や改善に努めている。 ・振り返りで出た改善事項はすぐに次の活動に取り組むようにグループ間で共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	2	無回答１	重要事項説明会でも第三者委員の配置がされていることを周知しています。施設長が主に委員会に出席していましたが、３月には施設長と児発管が情報共有を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	21	0	無回答１	作成したプログラムデイリーで打ち合わせをしています。保護者に向けても廊下に掲示してあることを周知しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21	0	無回答１	面談やモニタリングを行い、保護者の方のニーズを伺い、作成しています。またお子さんの状況についてアセスメントを定期的に行って支援計画へ反映させています。より保護者の方とお子さんの課題や支援方法について共通理解をしていきたいと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0	無回答１	個々のこどものモニタリングを行いながら、目標や支援方法について現状の共通理解をし支援計画作成に反映させています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	0	無回答２	標準化されたツールは利用していませんが、KIDS、NCプログラムなど貴事業所の指標はあります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0	無回答１	ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。ガイドラインに示されたねらいや支援内容をわかりやすく伝え、理解して携われるように整えていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0	・個に合わせた支援計画を作成し、目標や支援方法を職員同士共有している。日頃のこどもの様子から見直しをしている。 ・児の現れの変化を児のみの現れで考えるのでなく、母の働きかけや関係、家族の状況を考えられる範囲を広げて支援を考慮しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	1	・気になるケースについては振り返りの中で意見を出し合いグループ職員で働きかけを周知した中で行っている	前日、前回の振り返りから翌日の活動内容、ねらいについて分担し各グループで連携して支援にあたっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	22	0	・朝の打ち合わせ、終了後の振り返りをしっかり行い、どの職員が何を担当し、確認をしていくかを明確に話し合い、記録に落とすようにしている。 ・活動後は毎日グループの職員で振り返りをする。保護者と話したことやこどもの気になる様子等を記録する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0	・振り返りの中で支援を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	0	無回答１	6か月に１回を基本とし、モニタリングの内容から、支援計画の見直しを行い、継続、変更するのかを判断しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	無回答１ ・相談支援事業所によってモニタリングに来ない所もあるので積極的にケース会議や担当者会議を呼びかけて日々繋がっていけるといい。	保育所等訪問支援の希望を受け、支援計画の確認や見直しを先生と行っています。その情報から児童発達支援の職員とも共有し、こどもの相互理解を深めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	2	無回答３	ルピロの事例検討会、児童発達支援連絡会など、他の事業所の方と話し合いをしたり、こどもや保護者支援の研修を行いながら、連携を図っています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0	無回答２	質の向上を図るため、正規職員が様々なテーマで研修を行っています。また高木先生や中村先生（PT）にも来ていただき、学ぶ機会を作っています。必要な研修には、外部への参加もしています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	0	無回答４	施設長が参加しています。
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	21	0	無回答１	雄踏幼稚園と交流がありました。地域との連携は、来年度も予定しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	・送迎時に保護者の言動に気を配り、保護者に合わせた対応を心がけている。また、その日のこどもの状況を伝え、上手くいった状況を合わせて課題を伝え共有している。面談をいつでもできる環境を整え、保護者の　思いと、こどものことを知る機会を設けている。 ・参加状況や今後の課題を明確に伝えることで、具体的な働きかけに繋がる	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	0	・プログラムのねらいを伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	22	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0	無回答１	モニタリング面談にて、半年に１回以上の頻度で支援計画を示しながら、こどもの目標について共通認識をし、支援方法の説明を行いサインをもらっています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	0	・療育とは別に時間をとって説明を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	1	無回答２	ファミリーデイや父親参観・オータムフェスなどを行い、兄弟や保護者同士の交流の場を作っています。また、お話会を行い保護者同士の交流や学びの場になるよう取り組みました。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0	・働いている保護者には時間を合わせたり、配慮を要する保護者には個別にお伝えしたりしている ・ことばで意志を伝える事が苦手な保護者の思いをより丁寧に聴いていく必要性を感じている。 ・送迎時、生活記録表のやり取り等で親御さんからの思いを聞く機会がある。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	0	無回答１	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	0	・個人情報に気を配り、HPなど丁寧に説明も行っている。 ・相談を受けた時、関係機関と直接連絡を取ってもよろしいかの確認を忘れないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0	無回答２	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	1	無回答２ ・こども食堂を行っているが、事業所に招待することが少ないため、増やせるといい。 ・地域の人との収穫体験から、食育を行っている。	地域の人を招待して行事などを行っていないため、今後検討していきます。何かよい案があれば教えて下さい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	0	・なるべく全職員が参加できるように工夫している。 ・マニュアルが作成されており、置いてある場所も職員に周知されている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	0	無回答３	基礎情報で共有したり、アセスメント面談にて、直接確認をしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	無回答１ ・給食提供の際は確認をしっかりする。こどもの気持ちを否定しない。	基礎情報でアレルギーについて保護者と共有しています。また医師によるアレルギーの原因がわかる書面を提出してもらっています。提出してもらった書類は河島先生に一部、原本は児発のアレルギーファイルに保管しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22	0	・非常時を想定した研修で、より具体的な行動を話し合い想定される問題点の対応策を決めている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	20	0	無回答２	安全計画を作成し、職員室横の玄関の棚のファイルに掲示されています。また、職員会議や研修の中で周知も同時にしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	0	・ヒヤリハットについて、細かく分類し職員間で共有を行なっている。 ・ヒヤリハットを記録に落とし、どの職員も確認できるようになっている ・ヒヤリハットなどは、毎日の終礼で周知する時間を設け、記録にも落とすことが徹底されている。今後も職員の意識を持っていけるといい。ヒヤリハットはどこの場所で起きているのが、見てすぐに分かるようにシールを貼っていく方法を検討してみたらどうか、確認をしていきたい。 毎日の終礼や職員会議でヒヤリハットを共有し日々の活動での防止に努めている。 ・ヒヤリハットについて、終礼で毎日報告をあげ対策についても検討されている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	2	無回答３	対象児が現在いません。身体拘束については、やむを得ず行う場合について職員研修を重ねています。対象児がいた場合は、こどもや保護者に説明をし、支援計画にも記載していきます。